

みどり
水土里ネットだより No.23

幸野溝

幸野溝土地改良区／球磨郡湯前町2065／TEL0966-43-2062・FAX43-7155
上配水事務所／42-5089・下配水事務所／45-0204



『旧隧道の探検 & 幸野溝ラフティング!!』

理事長あいさつ



組合員の皆様方には、日頃より当水土里ネット幸野溝の事業運営に対しまして、各段のご理解・ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

近年、農業を取り巻く状況は大変厳しくなっております。昨年の政権交代により、政策が大きく変わり、国の財政も厳しい中とはいえ、農林業の予算が大幅に削減されました。

特に地域農業農村整備事業は前年比40%を下回る削減となりました。国は食糧自給率の向上、また安心・安全な食糧の安定供給を我々に求めています。しかし、その基盤となる農業用排水路、水門等各种施設の維持管理や管内で実施中の県営事業等の継続事業の遅延、また新規事業についての不透明さなど地域農業政策に対する、困惑と不安の声が挙がります。

当水土里ネットと致しても水路等施設の維持管理また、かんがい用水に支障の無いように努めてまいりたいと思っております。

厳しい昨今ではありますが、運営の基礎予算となっております水利費の徴収率を上げ、未収の滞納賦課金の徴収に役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後、水土里ネットの運営も今以上に厳しくなると思いますが、組合員の皆様のご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。

水土里ネット幸野溝 理事長 宮原辰紀

熊本県農林水産業功労者表彰を受賞

平成21年12月、熊本県庁において熊本県農林水産業功労者の表彰がありました。

熊本県農林水産業功労者とは、農林水産業を通して本県の振興・発展に貢献のあった個人及び15年以上にわたり、農業の発展に特に優れた功績のあった団体が、表彰の対象で個人12人と団体では幸野溝土地改良区が県内では唯一選ばれました。

今回の表彰に当たり、農業が厳しい中、各種補助事業を活用しながら、着実な土地改良区運営をしていきたいと思っています。



【受賞理由】

- ① 設立当初から所有する区有林の計画的な維持管理に取り組み、農業用水の安定的な供給や土砂災害の防止に貢献。
- ② 区有林を活用し、地元の小学校を対象に、農業用水や森林の役割についての特別授業を開催するなど普及啓発活動にも力を入れている。
- ③ 当土地改良区の呼びかけにより、球磨川流域の土地改良区が協力して水源かん養林の保全に取り組む「球磨川流域水土里ネット連携協議会」が設立されるなど、地域連携に大きな役割を果たした。

農地・水・環境保全向上対策 ～地域との新しいかかわり～

農業施設を資源として、農家と非農家が一体となり資源を守っている地域に支援金が受けられる制度です。

事業年度 平成19年度～平成23年度

平成19年度より各地で「農地・水・環境保全向上対策」を実施しています。現在、「水土里ネット幸野溝」では、湯前町・あさぎり町の2地区からの要望をうけ、各組織の構成員・事務局として指導・助言等のお手伝いをしております。また、この支援を通して「水土里ネット幸野溝」の仕事とのかかわりについても啓蒙しています。

【各組織の活動状況の一部を紹介します】



線路ぎわをきれいになりました。



花の植栽です。きれいに花がさきますように。



ヨイショ！ヨイショ！！
キレイな花が咲く為に！！



お疲れ様でした。



岡原小の子供たち



がんばって～

旧ずい道の探検 & 幸野溝ラフティング

～ゆのまえグリーン・ツーリズム研究会に協力～

300年以上前から農地を潤している湯前町内の幸野溝で10月3日、町内外の子供達が、旧ずい道探検とラフティングを楽しんだ。

湯前グリーン・ツーリズム研究会がモニターツアーとして主催。同町と人吉市の4歳から一般まで14人が参加した。

午前9時、農村環境改善センターに集合、その後、浜川地区の旧ずい道入り口へ移動、幸野溝をなぜ作る必要があったのかなど歴史を学んだ後、合掌造りが歴史の“重み”を物語る旧ずい道の中へ、パタパタと暗闇を飛び交うコウモリに驚きながら歩き、手作業で掘った先人の偉業に思いをはせた。



ずい道探検のあとは、ゴムボート・チューブいかだ・カヌーなどに乗って幸野溝の溝下りに挑戦、奥球磨マイスターの濱中誠さんにアドバイスを受けながら下り、楽しい一時を過ごした。参加した子供達からは「旧ずい道探検はたくさんのコウモリがいて、迫力有すぎ、昔の人は良くこんなすごいのを造ったなあと思いました。」「またチャンスがあったなら、是非参加したい。」という感想がありました。



平成21年11月～22年11月 学習・視察・研修来所一覧

平成21年度は、県内外17団体が多方面から基盤整備推進・合意形成、農地・水・環境保全向上対策等研修されました。また、共通の課題や対策について意見交換することができました。

■一般・団体

- 上益城郡山都町矢部開パ地区土地改良区
- 八代市八代平野土地改良区連合
- 宇土市土地改良事業団体連絡協議会
- 人吉球磨さわやか大学運営委員会
- 熊本県調査計画費要望地区現地調査
- 愛媛県西条市神戸・橋一部土地改良区、愛媛県西条市神戸土地改良区
- 九州農政局・熊本県
- 福岡県八女市中の井水利委員会
- 玉名市末広地域資源保全隊

- 湯前グリーンツーリズム (モニターツアー)
- 宮崎県宮崎市田野町土地改良区

■小学校・中学校・大学

- 湯前町立湯前小学校 (4年生) 3回
- あさぎり町立深田小学校 (4年生)
- 人吉市立東間小学校 (4年生: 資料提供)
- 人吉市立西小学校 (4年生)
- 水上村立岩野小学校 (4年生: 資料提供)
- 神奈川県東洋大学 (青木ゼミナール)

土地改良区からのお願い

土地改良区の未収入賦課金の解消

- (1) 土地改良区の施設は皆さんの収めていただく賦課金で運営しています。納期限内に完納しましょう。
- (2) 未収納金が増加しますと、土地改良区の運営が困難になりますので、受益農家の皆様方のご理解とご協力をお願いします。
- (3) 土地改良区の運営・施設の維持管理のための賦課金 (経常賦課金)
- (4) 県営及び団体営事業等の借入れ金を償還するために係る賦課金 (特別賦課金)

農地及び組合員に移動があったなら土地改良区に届出を

- (1) 農地の売買。
- (2) 農地を借りた、貸した。(所有地・小作地)
- (3) 農業者年金の受給手続。
- (4) 現組合員の名義変更。(死亡・相続・離農)

※この通知義務を怠ると、元の組合員の方に従前ままの面積で賦課徴収しますので、ご注意ください。

農業用水の有効利用

限られた水を有効に利用するために各農家の協力が不可欠です。



平成22年度 収入支出予算の執行状況

(平成22年8月31日現在) (単位：円)

収 入				支 出			
款 別	予算額	収入済額	未収入額	款 別	予算額	支出額	支出残額
1. 組合費	49,932,000	24,427,160	25,504,840	1. 事務費	25,544,100	7,979,357	17,564,743
2. 財産収入	3,000	330,503	△327,503	2. 選挙費	5,000	0	5,000
3. 使用料	1,625,000	341,680	1,283,320	3. 事務所費	406,000	320,656	85,344
4. 補助金	27,443,000	92,000	27,351,000	4. 維持管理費	10,575,000	4,201,355	6,373,645
5. 寄付金	1,000	0	1,000	5. 事業費	10,000	0	10,000
6. 雑収入	245,000	729,754	△484,754	6. 財産費	5,151,000	45,700	5,105,300
7. 借入金	3,000	0	3,000	7. 借入金	31,941,000	0	31,941,000
8. 繰越金	3,000,000	5,552,060	△2,552,060	8. 負担金	460,000	193,980	266,020
				9. 補助金	1,000	0	1,000
				10. 諸 費	6,091,000	2,527,993	3,563,007
				11. 予備費	2,067,900	1,500,000	567,900
計	82,252,000	31,473,157	50,778,843	計	82,252,000	16,769,041	65,482,959

平成21年度 決算の内容

(単位：円)

収 入		支 出	
款 別	決算額	款 別	決算額
1. 組合費	49,147,950	1. 事務費	24,577,639
2. 財産収入	78,011	2. 選挙費	0
3. 使用料	297,060	3. 事務所費	2,426,014
4. 補助金	29,056,991	4. 維持管理費	9,582,593
5. 寄付金	0	5. 事業費	0
6. 雑収入	2,527,350	6. 財産費	5,110,905
7. 借入金	0	7. 借入金	31,960,283
8. 繰越金	4,672,736	8. 負担金	664,646
		9. 補助金	0
		10. 諸 費	5,905,958
		11. 予備費	0
計	85,780,098	計	80,228,038

収入支出差引残金

5,552,060円 平成22年度へ繰越

監査の結果、上記のとおり

相違ないことを認める。

平成22年8月6日

総括監事 星原二六 印

監 事 山口洋史 印

” 丸山春美 印

平成22年9月25日 総代会議決

財産目録

(平成22年5月31日現在)

資 産

流動資産 (現金、預金、未収入金)	9,841,552円
特定資産 (積立金)	62,799,367円
土 地 (事務所敷地他)	6,727,990円
建物設備 (事務所他)	5,657,000円
工事用機械器具	648,546円
備 品	4,176,338円
基本財産中固定資産 (山林)	94,767,331円
資産合計	184,618,124円

負 債

長期負債 (農林漁業資金借入金)	302,951,114円
短期負債 (積立金引当金等)	32,780,878円
負債合計	335,731,992円

財務状況報告

規約第45条、及び会計細則第49条により、幸野溝土地改良区の財務状況を公表します。

土地改良区の会計年度は、毎年四月一日から翌年三月三十一日までとし、五月末で出納閉鎖して決算をします。年三回の定期監査の他、九州農政局及び県の定期検査が実施され、事業並びに土地改良区運営の全般に亘り、検査、監査が行われ、土地改良区の正確かつ健全な運営が図られるようになっていきます。